

福島県企画調整部復興・総合計画課御中

# KDDI Location Analyzerを活用した 福島県内3自治体動態分析における政策検討モデル

KDDI株式会社 パートナービジネス推進部

2021年3月16日

---



特定地点の人の流れについて、現状値と前年値（または計画値）の増減状況を定量化することで、コロナ禍での人の流れを「見える化」し、新しい生活様式における人の流れを基にした地域振興モデルを検討できる。



図：品川駅における4/1-6/20の人口推移

## 【活用例】

- 駅や建物など人が集まる施設での人数の時系列での定量化
- あるイベントに集まった人の人数や居住地、年代の把握
- 自粛期間中に人が集まっている場所の特定と人数の把握

1

政策検討モデルの目的とサマリ

2

須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

3

喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」エリア

4

相馬市「浜の駅（復興市民市場）」エリア

5

政策提言

# 政策検討モデルの目的とサマリ

## 【政策検討の目的】

データを活用した政策立案（E B P M）を県及び市町村へ展開することで、課題を定量的に分析し、効果的に事業が執行できる地方創生の推進を図る。このため、本年度は県内3市をモデルとしたKDDI Location Analyzer（以下、KLA）による分析について、県とKDDIが協力して実施し、E B P Mと地方創生の推進を図る。

なお、この報告書において記載した人口等のデータは、KLAによる「全人口推計値」（詳細は後述）を用いて算出したため、実人数ではないことに留意のこと。

※KLAは、10mメッシュでKDDIユーザー（匿名情報）の属性・移動データが分析可能

## 【モデル自治体及び分析ポイント】

### ・須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

「tette」を起点とした中心市街地の賑わいの状況について、コロナ禍となった2020年12か月の人口動態と属性を見える化  
→市民センターを起点とした中心市街地への来訪数の変化を定量化して、市街地の活性化の一助とする。

### ・喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」

中心市街地（ラーメン神社付近）の来訪者人数と属性の変化について、2019年と2020年のGWと秋（10-11月）を定量的に比較  
→コロナ発生前後の客層を可視化し、2020年秋の来訪者を定量化して、会津地域への誘客ターゲット選定の一助とする。

### ・相馬市「浜の駅（復興市民市場）」

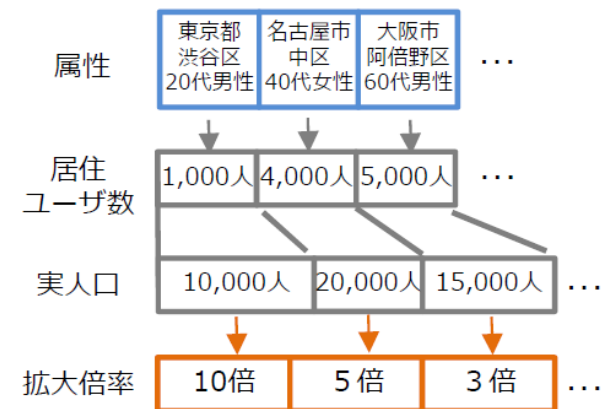
2020年10月以降での来訪者人数と属性の把握と、同施設と近隣施設の併用状況の把握  
→新施設開所によって、他のどの施設を利用しているか定量化し、観光ルート作成の一助とする。

# K L Aでの人口推計方法と属性の出し方（Q&Aより抜粋）

Q. 「全人口推計値」とは？

A. 「全人口推計値」は、ユーザー数に拡大倍率を掛け合わせて集計し、その計算ロジックは以下の通りです。

- ・ユーザーの属性として、位置情報データから推計した居住地と契約情報に基づく性別・年代情報があります。これと平成27年国勢調査の市区町村ごとの性・世代別人口データを比較し、拡大倍率を求めます。
- ・拡大倍率は、許諾者の増加などに合わせて最適な数字となるよう、各月ごとに計算しています。



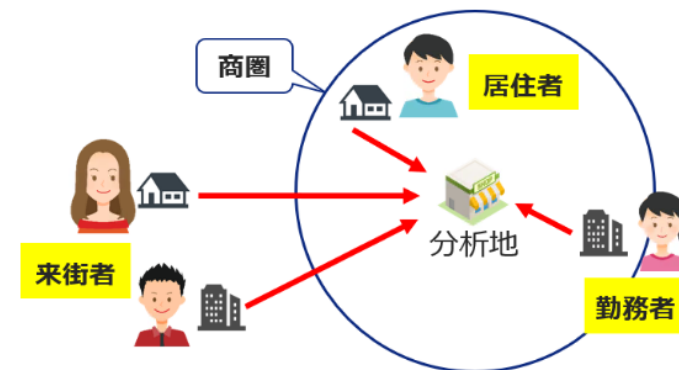
Q. 「居住者・勤務者・来街者」「居住地」はどのように判別しているの？

A. 取得したユーザー情報の最頻滞在地を元に、以下のように居住地・勤務地を毎月判定しています。

- ・居住地：直近1カ月の夜間（22～29時）の最頻滞在地
- ・勤務地：直近1カ月の平日昼間（8～19時）の最頻滞在地

これに基づき、来訪者居住地分析以外の機能では以下のように判定されます。

- ・指定したエリア内に居住地がある場合は居住者としてカウント
- ・指定したエリア内に勤務地がある場合は勤務者としてカウント（居住地と勤務地が同一地点の場合は居住者としてカウント）
- ・指定したエリア外が居住地・勤務地と判定された場合は来街者としてカウント





# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

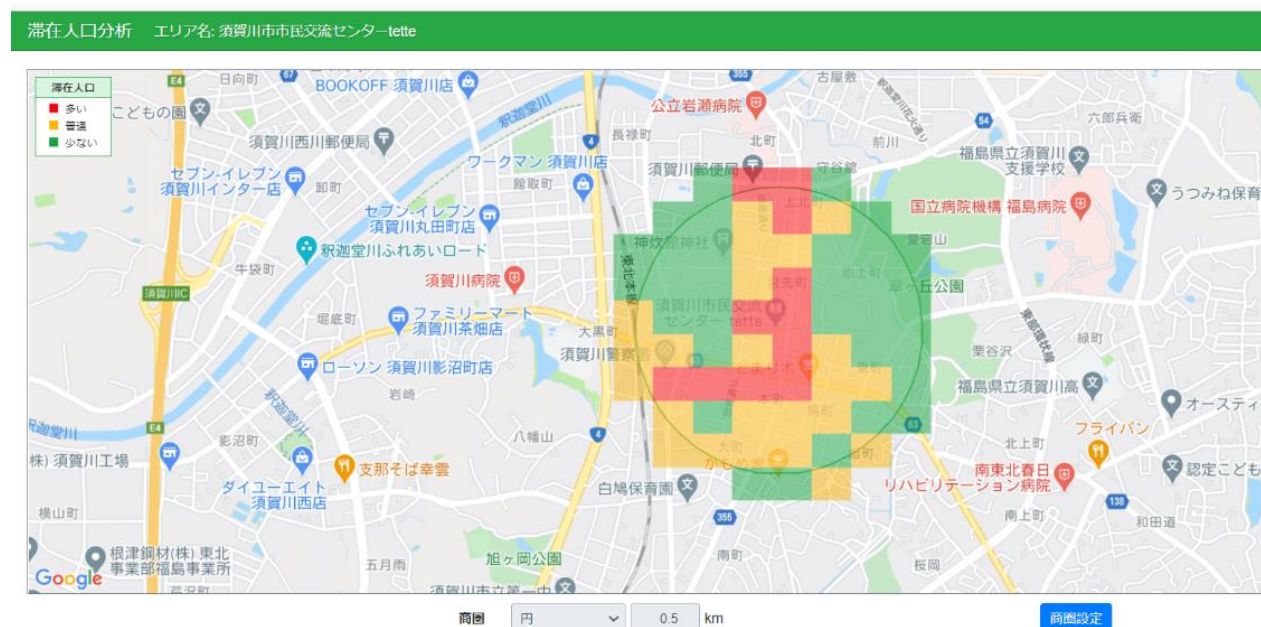
## 【ターゲット自治体及びポイント】

市民センター「tette」（以下、tette）を起点とした中心市街地の賑わいの状況について、コロナ禍となった2020年12か月の人口動態と属性を見える化

## 【分析内容】

・KLAの「滞在人口分析」を用い、同市中心街のtetteから半径500mを分析エリアとして設定し、2020年1月1日～12月31日までの1年間について人口動態及び属性の変化を定量化

→市民センターを起点とした中心市街地の滞在者の変化を定量化し、市街地の活性化の一助とする。

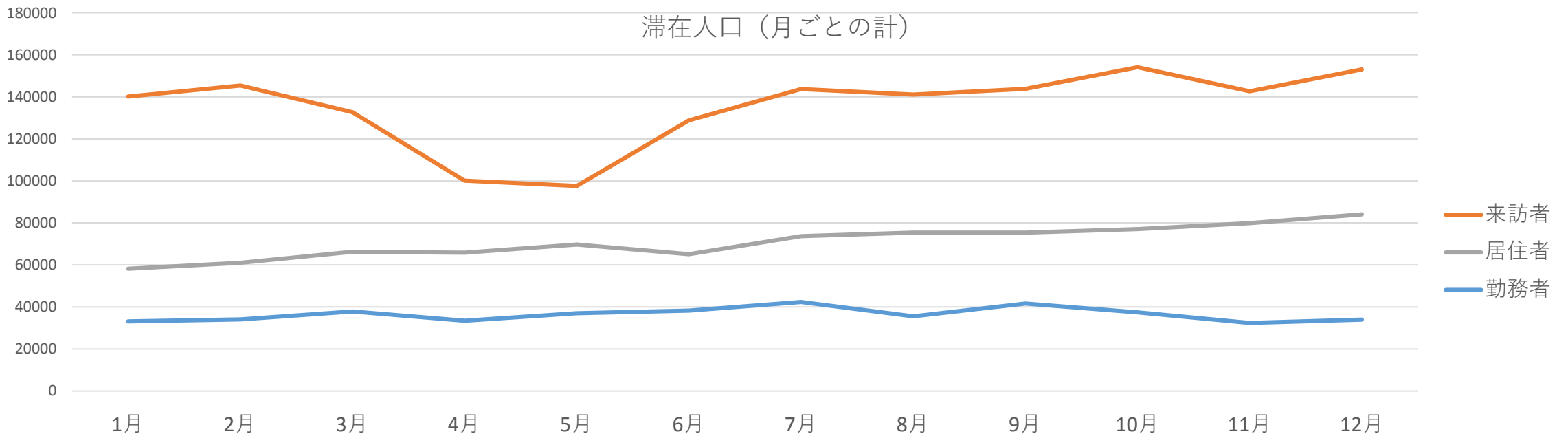


# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

【動態変化】同エリア内人口について2020年の12か月ごとの人口を集計した。

- ・2020年同エリアでの滞在人口は2,911,768人/年（平均は242,648人/月、7,956人/日）
- ・緊急事態宣言中（4/7～5/31）は来街者が減少したものの、10月以降の来街者は宣言前水準まで回復した。
- ・居住者（1カ月の夜間22～29時の最頻滞在地）が増加傾向にあり、1月の居住者人口は58,229人/月に対し、12月は84,043人と1月比44%増となった。

→10月以降の増加について10/2に物産館flatto（以下、flatto）がオープンしており、人出の変化に寄与しているか分析する。また、居住者の増加要因についても分析する。

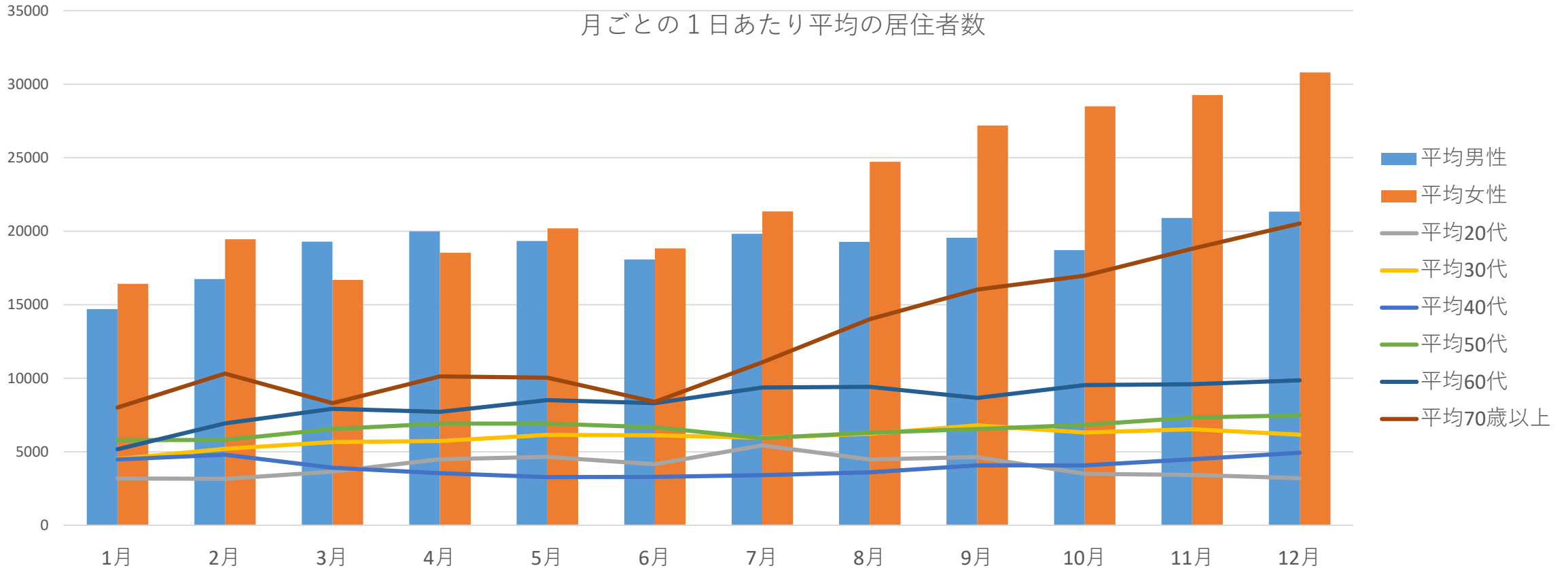


# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

**【動態変化】**同エリア内人口の居住者の増加要因を分析するため属性を分析した（居住者とは過去1ヶ月夜間に地域内に滞在している人口）。

・同エリア内の7月以降に女性70歳以上の方が増加傾向にあり、1月と12月を比較すると、2.56倍となった。

→次にエリア内での増加している区画を地図上で分析する。





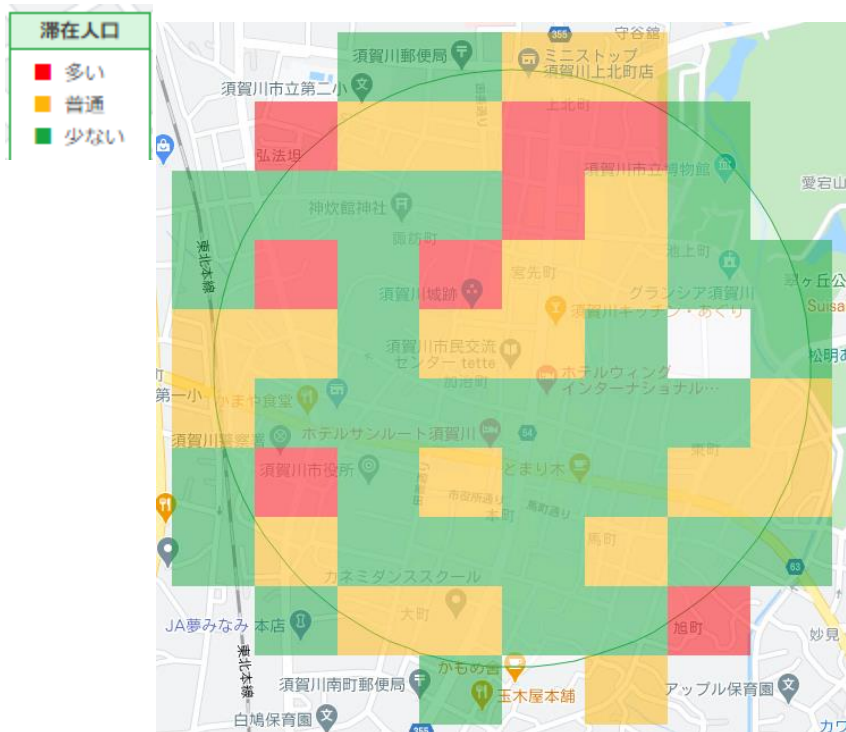
# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

【動態変化】居住者の増加要因について、同エリア内居住者の分析した（居住者とは過去1ヶ月夜間に地域内に滞在している人口）。

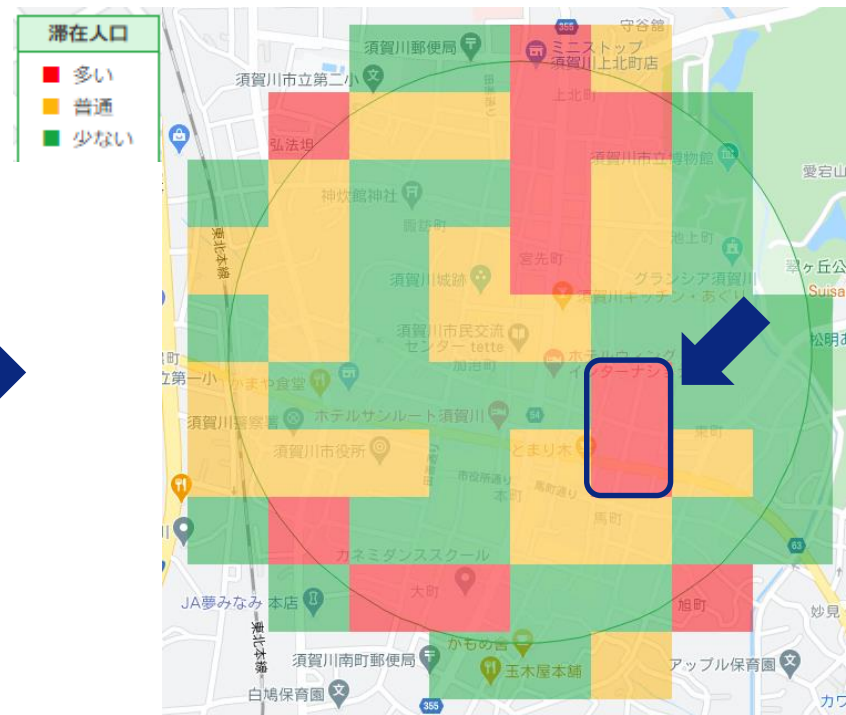
・赤＞黄＞緑で滞在人口を視覚化すると、1月は緑エリアだった箇所が12月では赤エリアに変化している。

→同エリア内居住人口の増加区画を特定はできたものの、主たる増加要因について、これ以上のKLAによる分析は限界であり、現地調査やヒアリングなどのさらなる分析が必要

中心街居住者の滞在分析（2020年1月）



中心街居住者の滞在分析（2020年12月）

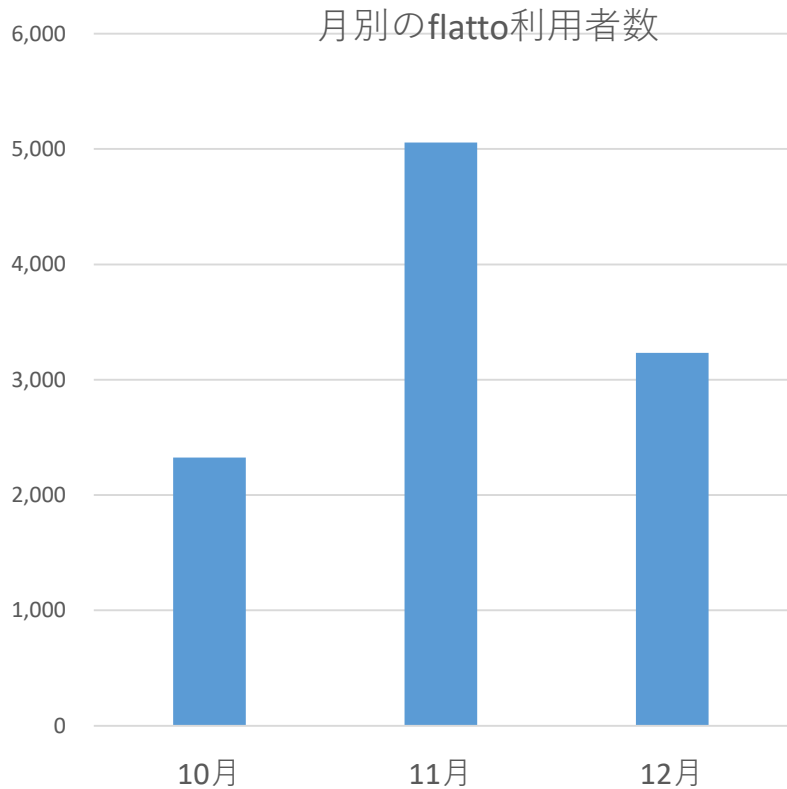


# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

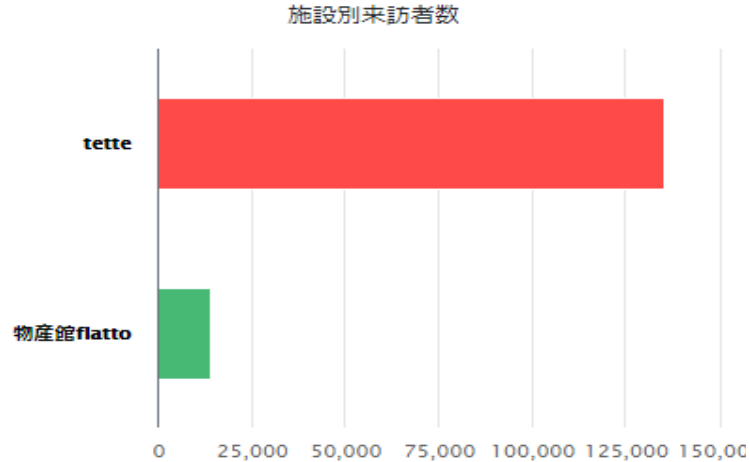
【動態変化】つぎに同エリア内のflattoのオープン効果を検証するため、同施設に範囲設定し人口を集計した。

・flattoの10月1日～12月31日の利用者数は10,616人あった。

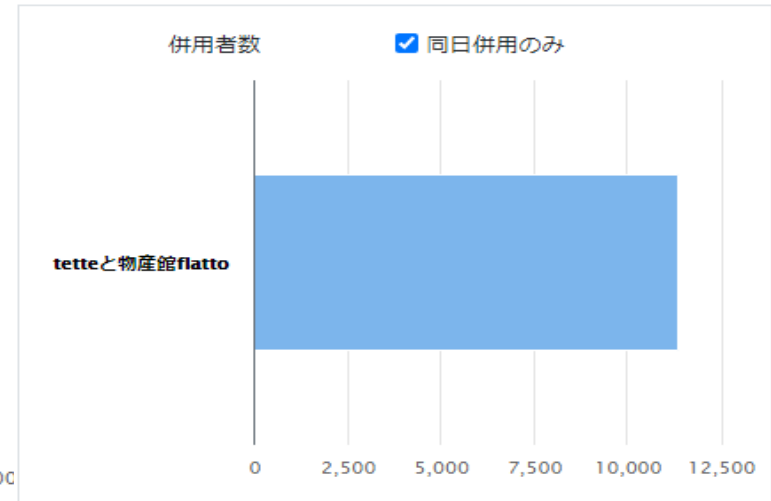
→tetteとの併用率が92.8%と高く、両施設の相乗効果が発揮されている。併用状況より、flattoのみを利用目的としている方は少ないことが推察される。



### 期間におけるtetteとflattoの利用者数



### tetteとflattoの併用利用者数



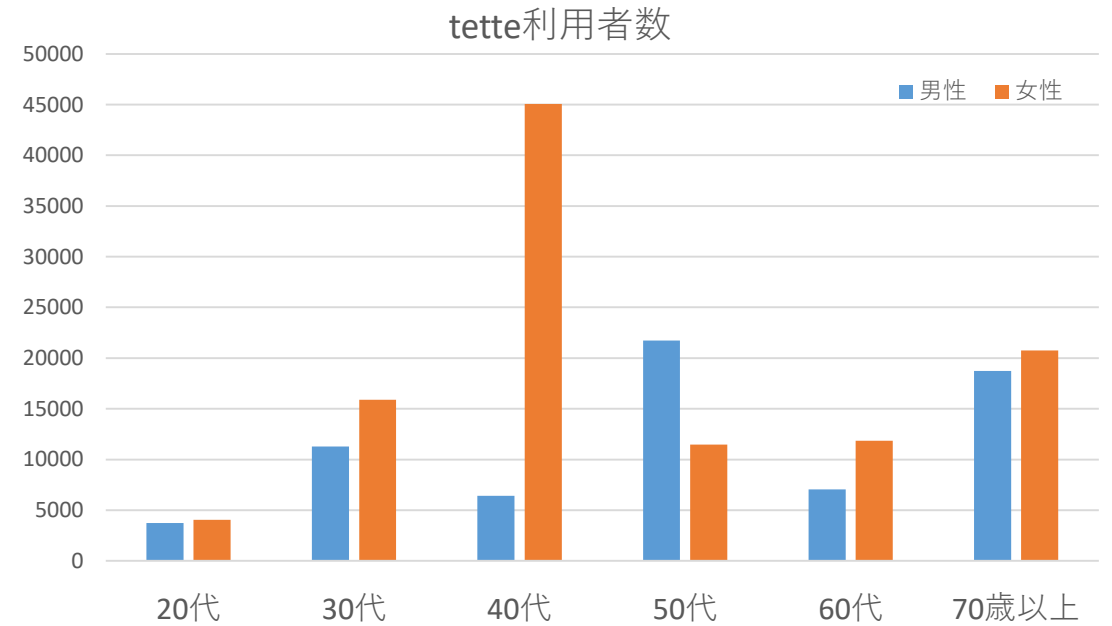
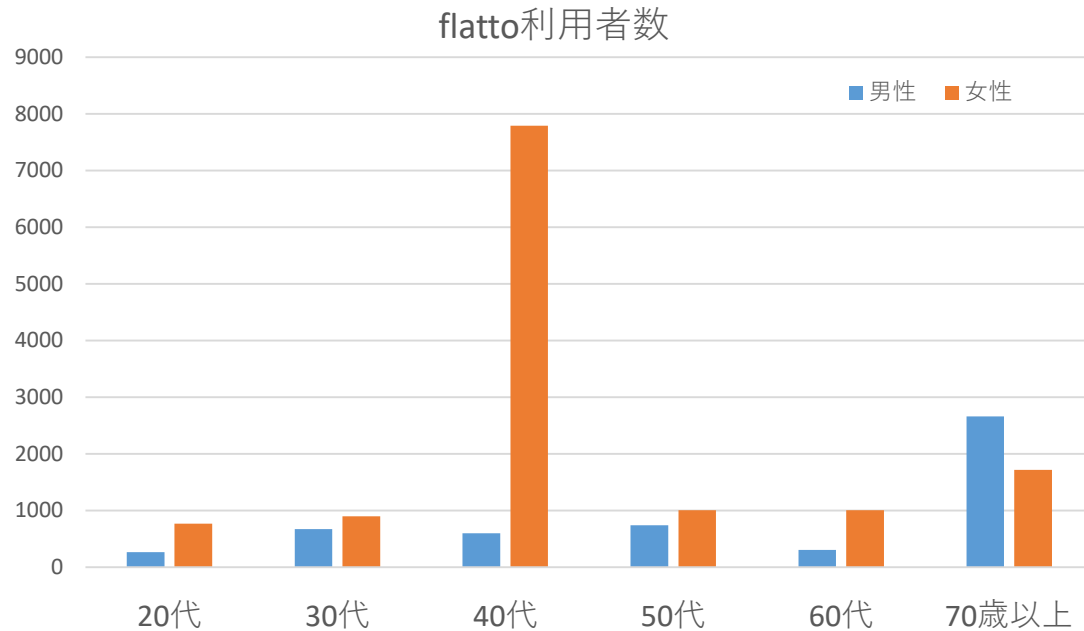
### tetteとflattoの併用状況

# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

**【動態変化】**増加要因を深掘するため、flattoとtette利用者その属性を分析する。

・前ページの併用利用者データからflatto利用者のほとんどはtetteも利用しており、その中でも40代女性が特に多い。

→tetteを利用する40代女性については、どのような目的で来館しているかの分析には現地調査が必要。次に、利用者の居住地を分析する。



性別、年代別利用割合

| flatto | 20代  | 30代  | 40代   | 50代  | 60代  | 70歳以上 | 計     |
|--------|------|------|-------|------|------|-------|-------|
| 男性     | 1.4% | 3.6% | 3.2%  | 4.0% | 1.6% | 14.4% | 28.7% |
| 女性     | 4.1% | 4.8% | 42.1% | 5.4% | 5.4% | 9.3%  | 71.3% |

| tette | 20代  | 30代  | 40代   | 50代   | 60代  | 70歳以上 | 計     |
|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 男性    | 2.1% | 6.3% | 3.6%  | 12.2% | 4.0% | 10.5% | 38.7% |
| 女性    | 2.3% | 8.9% | 25.3% | 6.4%  | 6.7% | 11.6% | 61.3% |

# 須賀川市「tette（市民交流センター）」エリア

【2020年来訪者分析】tetteとflattoの2020年の来訪者居住地を集計した。

・両施設の来訪者構成がほとんど同じであり、市内または近隣自治体からの利用者が70%以上を占めている。

→flatto利用者はtetteを利用した「ついで」に利用している可能性が高い。

tette来訪者居住地の割合

|      |       |         |       |
|------|-------|---------|-------|
| 福島県  | 95.5% | 福島県     | 95.5% |
| 宮城県  | 0.8%  | 須賀川市    | 68.3% |
| 東京都  | 0.7%  | 郡山市     | 10.8% |
| 埼玉県  | 0.5%  | 岩瀬郡鏡石町  | 2.4%  |
| 栃木県  | 0.4%  | 石川郡平田村  | 2.3%  |
| 神奈川県 | 0.4%  | 白河市     | 1.3%  |
| 茨城県  | 0.4%  | 石川郡玉川村  | 1.1%  |
| 千葉県  | 0.3%  | 岩瀬郡天栄村  | 1.1%  |
| 山形県  | 0.3%  | 西白河郡矢吹町 | 1.0%  |
| 群馬県  | 0.1%  | 福島市     | 1.0%  |
|      |       | 石川郡石川町  | 0.9%  |
|      |       | いわき市    | 0.8%  |
|      |       | 西白河郡泉崎村 | 0.6%  |
|      |       | 会津若松市   | 0.5%  |

flatto来訪者居住地の割合

|     |       |        |       |
|-----|-------|--------|-------|
| 福島県 | 93.7% | 福島県    | 93.7% |
| 茨城県 | 1.1%  | 須賀川市   | 54.7% |
| 埼玉県 | 0.9%  | 郡山市    | 16.4% |
|     |       | 岩瀬郡鏡石町 | 6.1%  |
|     |       | 石川郡平田村 | 3.4%  |
|     |       | 福島市    | 2.5%  |
|     |       | 白河市    | 2.1%  |
|     |       | いわき市   | 2.0%  |
|     |       | 石川郡玉川村 | 1.9%  |
|     |       | 岩瀬郡天栄村 | 0.8%  |
|     |       | 石川郡浅川町 | 0.8%  |
|     |       | 石川郡石川町 | 0.7%  |
|     |       | 会津若松市  | 0.6%  |
|     |       | 本宮市    | 0.6%  |

## 【分析結果まとめ】

tetteを中心に半径500m分析エリアの15分以上滞在した人数の属性を分析したところ以下の事がわかった。

- ・緊急事態宣言中（4/7～5/31）は来街者が減少したものの、10月以降の来街者数は宣言前水準まで回復した。また、その要因までKLAでは追いきれなかった。
- ・tetteとflatto来訪者構成がほとんど同じであり、市内または近隣自治体からの利用者が70%以上を占めていることから、flatto利用者はtetteを利用した「ついで」に利用している可能性が高い。

## 【政策検討】

- ・flattoの誘客増には、利用者相関の高いtette利用者（市民）をターゲットとしたflattoの新たな利用価値の創出、弁当やテイクアウトの提供など、恒常的に訪問する市民向けの商品展開が必要。同時に、flattoを目的地とする市外からの誘客強化も必要。
- ・同エリア内の居住人口（直近1カ月の夜間22～29時の最頻滞在地）の増加が今回の調査で明らかになった。増加区域を地図で確認したものの、人口集中区画における増加要因が確認できず、政策検討には至らなかった。KLAでは見えない要因があると考えられ、現地調査や市へのヒアリングが必要である。



# 喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」エリア

## 【県内ターゲット自治体及びポイント】

同市の商店や飲食店が集まる中心市街地（ラーメン神社付近）の来訪者人数と属性の変化について、2019年と2020年のGWと秋（10-11月）を可視化して、コロナ禍における会津地域への誘客ターゲットを把握する

## 【分析内容】

KLAの滞在人口分析を用い、観光客が集中するラーメン神社付近から半径500mで分析エリアを設定して、以下の期間を比較分析する

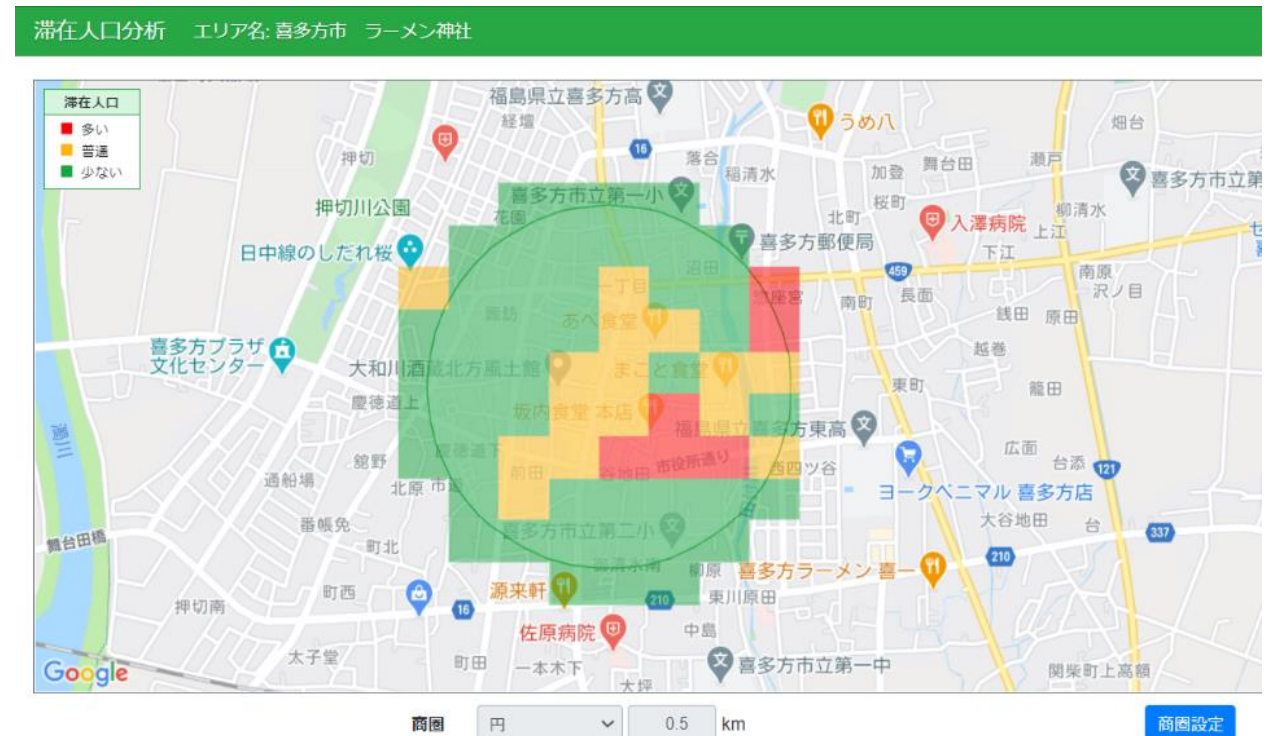
### GW期

- ・2019年：4月22日～5月12日まで
- ・2020年：4月20日～5月10日まで

### 秋期（10月～11月）

- ・2019年10月～11月
- ・2020年10月～11月

の人口動態及び属性の変化を確認



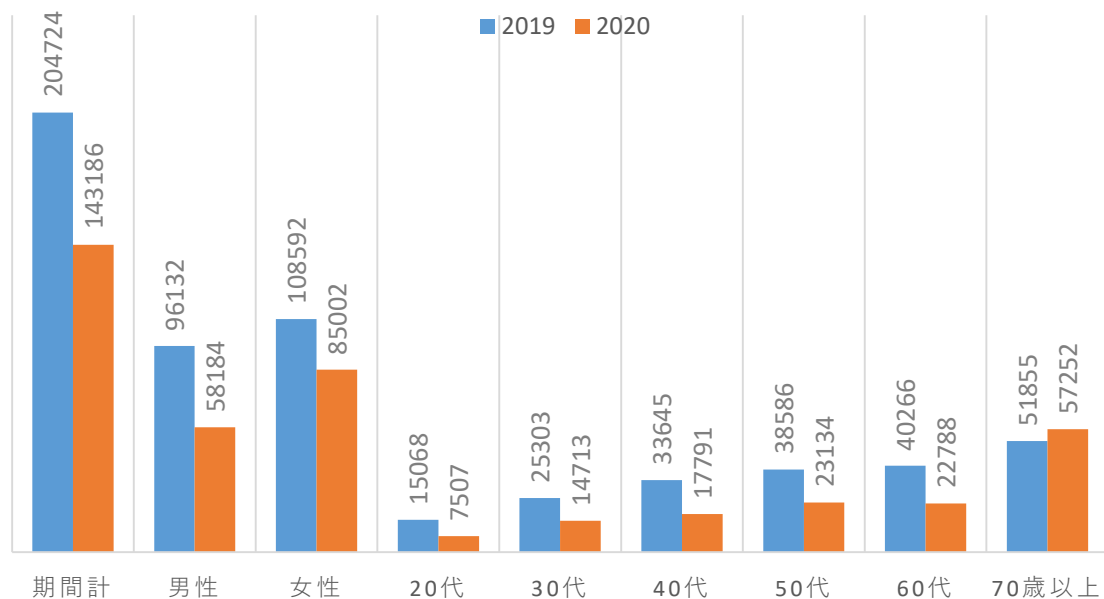


# 喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」エリア

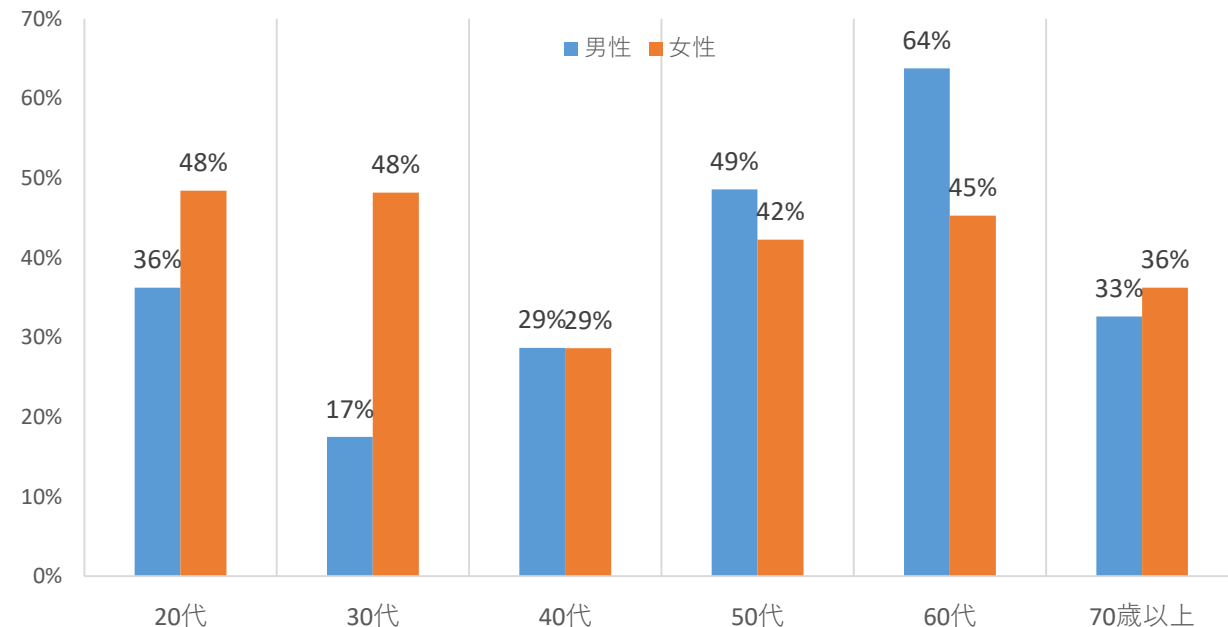
【GW動態変化】 期間：2019年4月22日～5月12日、2020年4月20日～5月10日

- ・2020年の人出は前年対比30%減、性別では男性で前年対比39%減 女性前年対比22%減となった
- ・年代別前年対比では、20代50%減、30代42%減、40代47%減、50代40%減、60代43%減、70代以上10%増となった。
- ・エリア外からの来訪者に限定すると、男性30代の減少率がもっとも大きい。

エリア内の人数と性・年代の人口



エリア外からの2020年来訪者前年比（性・年代別）



# 喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」エリア

【GW来訪者分析】期間：2019年4月22日～5月12日、2020年4月20日～5月10日

ラーメン神社を中心に半径500m分析エリアの15分以上滞在した人の居住地を分析したところ以下の事がわかった。

- ・市外からの来訪者が、2019年は48.8%に対し、2020年は16.5%まで減少している。
  - ・さらに県外からの来訪者では、2019年は32.9%に対し、2020年は2.7%まで減少した。
- 緊急事態宣言中は例年来訪していた観光客（市外からの流入）が減少したことで、域内経済状況の悪化が懸念される。

本エリア内滞在者の居住地の割合

| 都道府県 | 2019  | 2020  | 県内市町村    | 2019  | 2020  |
|------|-------|-------|----------|-------|-------|
| 福島県  | 67.1% | 97.3% | 福島県      | 67.1% | 97.3% |
| 東京都  | 5.2%  | 0.2%  | 喜多方市     | 51.2% | 83.5% |
| 新潟県  | 5.2%  | 0.6%  | 会津若松市    | 5.0%  | 5.7%  |
| 神奈川県 | 2.7%  | 0.2%  | 郡山市      | 1.7%  | 1.6%  |
| 宮城県  | 2.7%  | 0.2%  | 福島市      | 1.3%  | 0.5%  |
| 埼玉県  | 2.7%  | 0.4%  | いわき市     | 1.3%  | 0.1%  |
| 千葉県  | 2.3%  | 0.1%  | 大沼郡会津美里町 | 1.2%  | 0.9%  |
| 栃木県  | 2.0%  | 0.4%  | 河沼郡会津坂下町 | 1.0%  | 1.2%  |
| 茨城県  | 2.0%  | 0.2%  | 耶麻郡北塩原村  | 0.7%  | 1.2%  |
| 山形県  | 2.0%  | 0.3%  | 耶麻郡猪苗代町  | 0.5%  | 0.5%  |
|      |       |       | 河沼郡湯川村   | 0.3%  | 0.2%  |

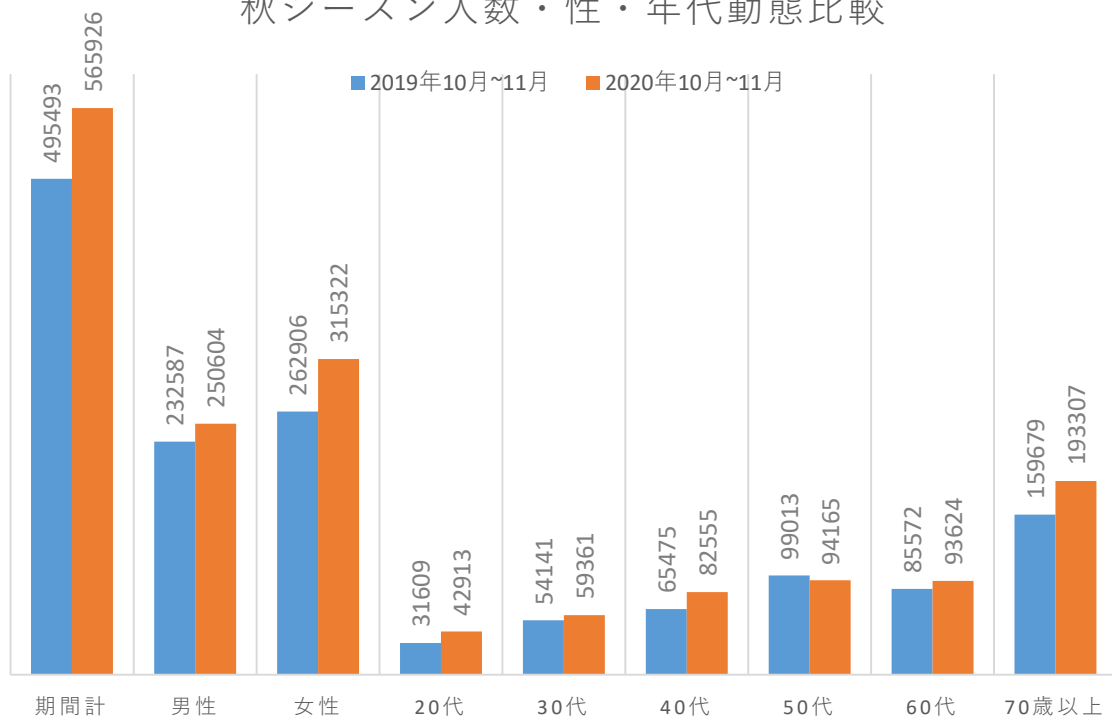
# 喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」エリア

【秋シーズン動態変化】期間：2019年、20年10月～11月（2か月）

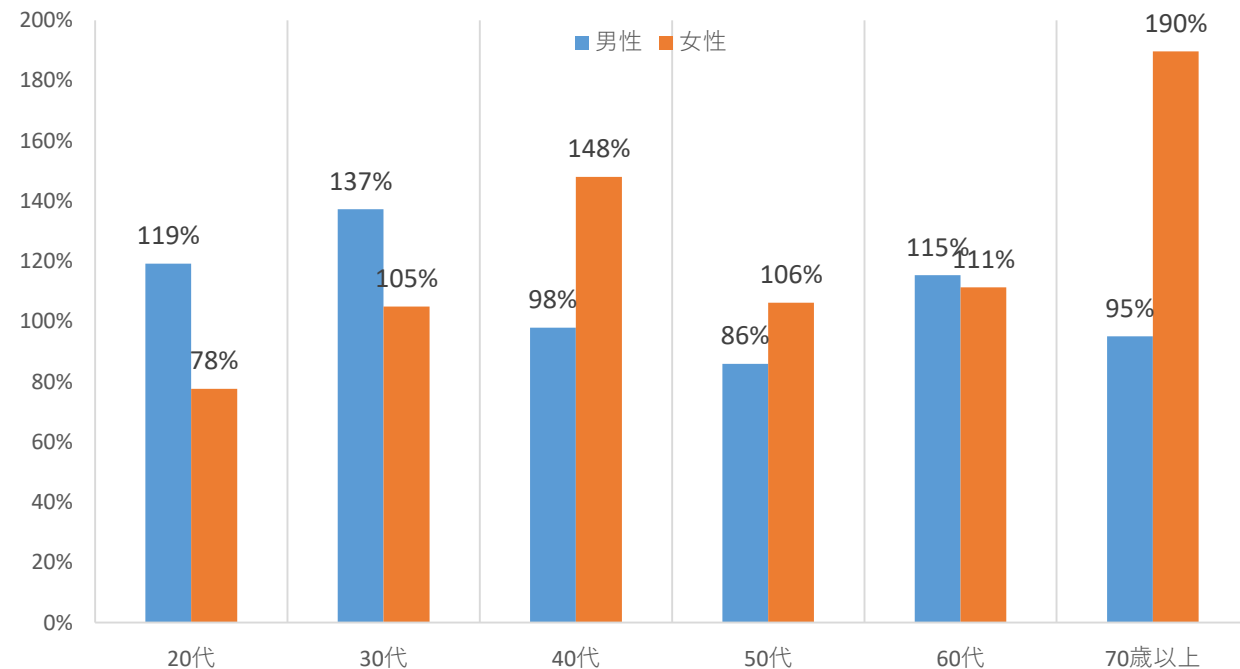
ラーメン神社を中心に半径500m分析エリアの15分以上滞在した人数を分析したところ以下の事がわかった。

- ・2020年は前年対比14%増、性別は男性8%増、女性20%増。期間全体として各層で増加している。
  - ・GW期に減少していた男性30代の増加が顕著に見られるとともに、30代以降の女性も増加傾向にある。
- 滞在者についてさらなる分析が必要であり、居住地分析を次に示す。

秋シーズン人数・性・年代動態比較



エリア外からの2020年来訪者前年比（性別年代別）



# 喜多方市「ふれあい通り（ラーメン神社付近）」エリア

【秋シーズン来訪者分析】 期間： 2019年、20年10月～11月（2か月）

ラーメン神社を中心に半径500m分析エリアの15分以上滞在した人の居住地を分析したところ以下の事がわかった。

・2020年秋期の人口動態増加の主要因は、2019年よりも県内の滞在者数が増加しており、県内内訳をみると2019年と比較して市内からの滞在者が3ポイント増となった。

→市民が近距離店舗等での消費行動へとシフト（行動変容）が起こっていることが示唆された。

→秋期の県外来訪者は2019年と2020年でほぼ同じであり、GW期に減少した県外観光客の回復が見られたと推察される。

本エリア内滞在者の居住地の割合

|      | 2019年   |       | 2020年   |       |
|------|---------|-------|---------|-------|
|      | 人数      | 割合    | 人数      | 割合    |
| 福島県  | 335,509 | 84.9% | 370,043 | 86.3% |
| 新潟県  | 10,512  | 2.7%  | 10,486  | 2.4%  |
| 山形県  | 6,571   | 1.7%  | 6,184   | 1.4%  |
| 東京都  | 6,470   | 1.6%  | 6,193   | 1.4%  |
| 宮城県  | 5,474   | 1.4%  | 5,664   | 1.3%  |
| 埼玉県  | 5,153   | 1.3%  | 5,184   | 1.2%  |
| 栃木県  | 4,686   | 1.2%  | 4,656   | 1.1%  |
| 神奈川県 | 4,507   | 1.1%  | 3,695   | 0.9%  |
| 千葉県  | 4,399   | 1.1%  | 4,115   | 1.0%  |
| 茨城県  | 3,558   | 0.9%  | 4,281   | 1.0%  |

|          | 2019年 | 2020年 |
|----------|-------|-------|
| 福島県      | 84.9% | 86.3% |
| 喜多方市     | 66.7% | 69.7% |
| 会津若松市    | 5.9%  | 6.2%  |
| 河沼郡会津坂下町 | 3.4%  | 1.3%  |
| 郡山市      | 1.8%  | 1.7%  |
| 福島市      | 1.3%  | 1.1%  |
| 大沼郡会津美里町 | 1.0%  | 0.8%  |
| 耶麻郡北塩原村  | 0.8%  | 1.2%  |
| 耶麻郡猪苗代町  | 0.5%  | 0.6%  |
| 田村郡小野町   | 0.4%  | 0.0%  |
| いわき市     | 0.4%  | 0.6%  |

## 【分析結果まとめ】

- ・GW期の市外からの来訪者が、2019年は48.8%に対し、2020年は16.5%まで減少している。さらに県外からの来訪者では、2019年は32.9%に対し、2020年は2.7%まで減少した。
- ・2020年秋期の人口動態増加の主要因は、2019年よりも県内の滞在者数が増加しており、県内内訳をみると2019年と比較して市内からの滞在者が3ポイント増となった。

## 【政策検討】

- ・GW期に顕著に減少した訪問客が、2020年秋期に回復が見られた。2021年GW期の客数回復を図るため、には、2020年秋期で前年より減少している20代女性と50代男性をターゲットとした旅行商品開発や周遊ルート提案などの誘客施策を実施することで、2020年秋期を上回る集客が得られる可能性がある。
- ・秋期になると市民が近隣施設で行動しており、行動変容が起こっていることが表れていた。コロナ禍における地産地消の重要性を打ち出しつつ、市民及び観光客の購買意欲を刺激する新商品開発として、農業者や加工事業者、小売事業者が連携した商品開発と流通ルートの確保が市内経済拡大効果を生む可能性が高い。

# 相馬市「浜の駅（復興市民市場）」来訪者、併用候補地分析

## 【県内ターゲット自治体及びポイント】

2020年10月以降での来訪者人数と属性の把握と、同施設と近隣施設の併用状況を把握し、施設来訪者は前後にどの施設を経由しているか把握できると観光ルート作成のモデルケースとして参考

## 【分析内容】

KLAの来訪者居住地分析、3地点居住地分析を用い、浜の駅に測定エリアを設定し、2020年10月以降の来訪者居住地の分析と想定来訪候補地の併用者を確認

## 【想定来訪候補地】

- ・相馬中村城跡
- ・千客万来館
- ・松川浦 鵜ノ尾岬 夕陽の広場
- ・磯部水産加工施設
- ・和田観光いちご園
- ・相馬松川浦温泉 飛天





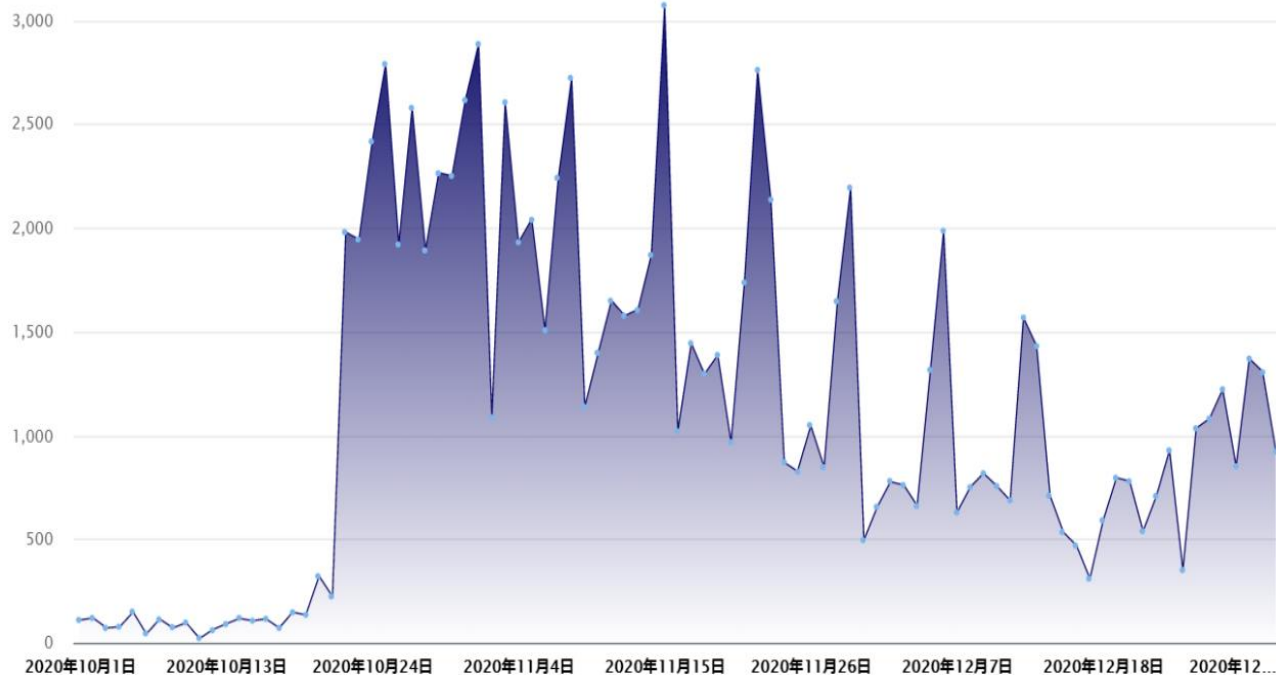
# 相馬市「浜の駅（復興市民市場）」来訪者分析

【来訪者分析】期間：2020年10月～12月（3か月）

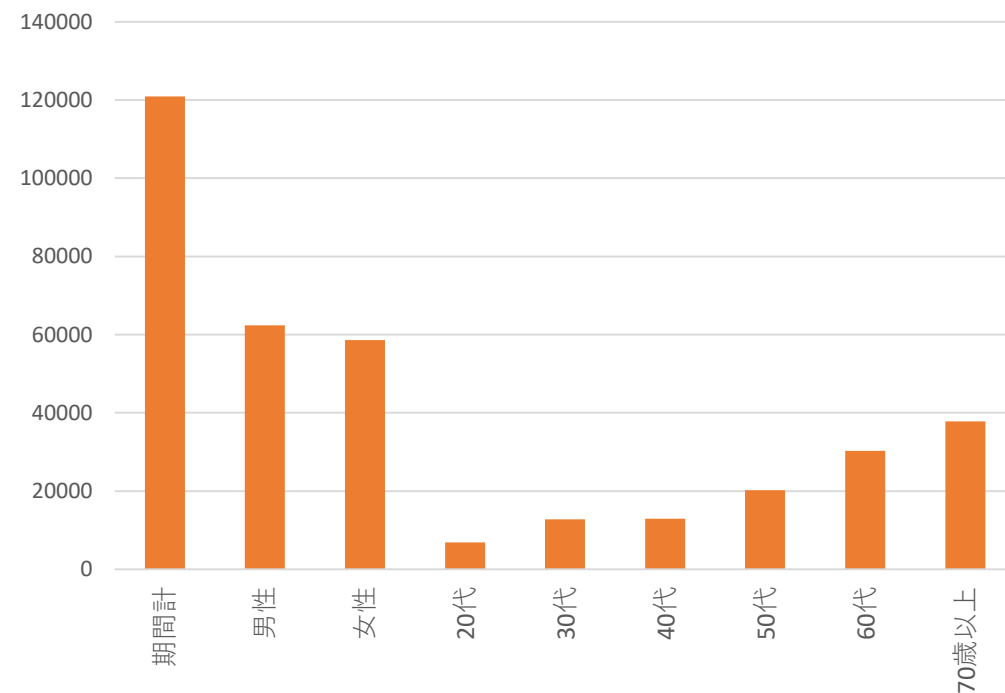
浜の駅施設に計測範囲を設定し、来訪されている方の属性及び居住地を分析

・開所により120,942人/3か月、最大一日で3,000人超の来客数が生まれた。また、年代別に見ると50代以降の来訪者が多い。

単点分析ダッシュボード 施設名: 相馬市 復興市民市場浜の駅



2020年10月～12月来訪者属性



# 相馬市「浜の駅（復興市民市場）」来訪者分析

【来訪者分析】期間：2020年10月～12月（3か月）浜の駅施設の来訪者の居住地を分析した

・来訪者の県内外比は2：1であった。県外からは宮城県がほとんどを占めた（31.4%）。

→市外利用者が82.8%と市外からの流入を生む施設として、浜の駅は高い誘客効果を発揮している。

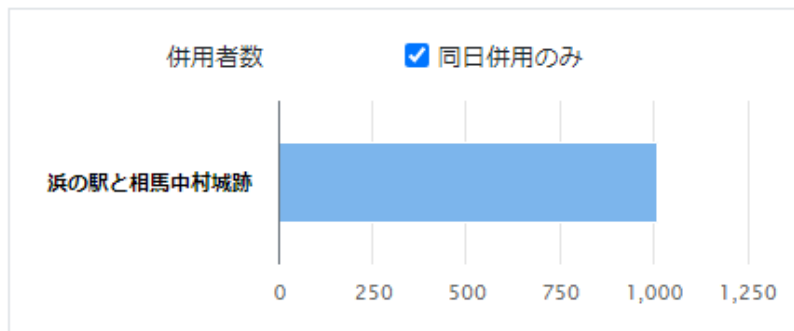
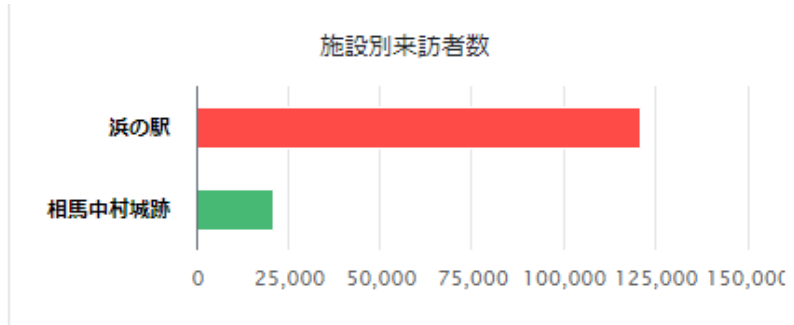
浜の駅滞在者の居住地の割合

|      |       |        |       |         |       |
|------|-------|--------|-------|---------|-------|
| 福島県  | 66.1% | 福島県    | 66.1% | 宮城県     | 31.4% |
| 宮城県  | 31.4% | 相馬市    | 17.2% | 仙台市太白区  | 3.1%  |
| 山形県  | 0.5%  | 福島市    | 13.1% | 亶理郡亶理町  | 3.0%  |
| 栃木県  | 0.4%  | 南相馬市   | 11.5% | 角田市     | 2.7%  |
| 埼玉県  | 0.3%  | 伊達市    | 5.6%  | 伊具郡丸森町  | 2.1%  |
| 茨城県  | 0.3%  | いわき市   | 3.8%  | 名取市     | 1.9%  |
| 長野県  | 0.2%  | 郡山市    | 2.8%  | 仙台市青葉区  | 1.8%  |
| 神奈川県 | 0.2%  | 伊達郡川俣町 | 2.5%  | 白石市     | 1.8%  |
| 東京都  | 0.1%  | 二本松市   | 2.1%  | 仙台市宮城野区 | 1.7%  |
| 千葉県  | 0.1%  | 相馬郡新地町 | 2.1%  | 柴田郡柴田町  | 1.7%  |
|      |       | 須賀川市   | 1.6%  | 岩沼市     | 1.6%  |
|      |       | 伊達郡国見町 | 0.7%  | 亶理郡山元町  | 1.5%  |
|      |       | 伊達郡桑折町 | 0.7%  | 仙台市若林区  | 1.5%  |
|      |       |        |       | 仙台市泉区   | 1.5%  |
|      |       |        |       | 柴田郡大河原町 | 1.0%  |
|      |       |        |       | 多賀城市    | 0.7%  |
|      |       |        |       | 柴田郡村田町  | 0.6%  |

# 浜の駅（復興市民市場）と相馬中村城跡併用者分析

【来訪者分析】 期間： 2020年10月～12月（3か月）

浜の駅施設に範囲を設定、3地点来訪者居住地分析を用いて来訪されている方が他のどの施設を利用しているか併用者を探る



## ＜中村城跡の併用分析＞

- ・期間中の中村城跡来訪者は22,407人
- ・浜の駅来訪者の内（120,942人）のうち、4.9%（5988人）が中村城跡に来訪している
- ・浜の駅との同日併用者が1,019人



＜中村城跡＞

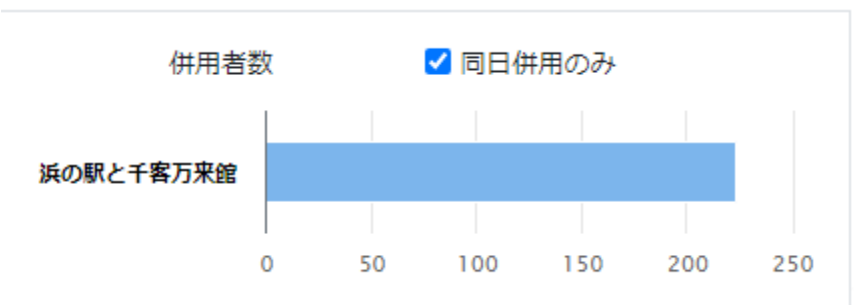


＜浜の駅＞

# 浜の駅（復興市民市場）と千客万来館併用者分析

【来訪者分析】 期間： 2020年10月～12月（3か月）

浜の駅施設に範囲を設定、3地点来訪者居住地分析を用いて来訪されている方が他のどの施設を利用しているか併用者を探る



## ＜千客万来館の併用分析＞

- ・期間中来訪者数は千客万来館18,624人
- ・浜の駅来訪者（120,942人）の内、6.6%（7923人）が千客万来館に来訪
- ・浜の駅との同日併用者が223人



＜千客万来館＞



＜浜の駅＞

# 浜の駅（復興市民市場）と松川浦鵜ノ尾岬夕陽の広場併用者分析

【来訪者分析】 期間： 2020年10月～12月（3か月）

浜の駅施設に範囲を設定、3地点来訪者居住地分析を用いて来訪されている方が他のどの施設を利用しているか併用者を探る



■ 単点のみ ■ 併用者  
相馬市 復興市民市場 浜の駅



## ＜松川浦鵜ノ尾岬夕陽の広場と併用分析＞

- ・期間中来訪者数は夕陽の広場44,515人
- ・浜の駅来訪者（120,942人）の内、21.8%（26,325人）が夕陽の広場に来訪
- ・浜の駅との同日利用者が11,931人



＜松川浦鵜ノ尾岬夕陽の広場＞



＜浜の駅＞



# 浜の駅（復興市民市場）と磯部水産加工施設併用者分析

【来訪者分析】 期間： 2020年10月～12月（3か月）

浜の駅施設に範囲を設定、3地点来訪者居住地分析を用いて来訪されている方が他のどの施設を利用しているか併用者を探る



■ 単点のみ ■ 併用者

相馬市 復興市民市場 浜の駅



併用者数

同日併用のみ

磯部水産加工施設と相馬市 復興市民市場 浜の駅

0 2,000 4,000

## <磯部水産加工施設の併用分析>

- ・期間中来訪者数は磯部水産加工施設13,106人
- ・浜の駅来訪者（120,942人）の内、7.4%（8,923人）が磯部水産加工施設に来訪
- ・浜の駅との同日併用者が3,519人



<磯部水産加工施設>



<浜の駅>



# 浜の駅（復興市民市場）と和田観光いちご園併用者分析

【来訪者分析】 期間： 2020年10月～12月（3か月）

浜の駅施設に範囲を設定、3地点来訪者居住地分析を用いて来訪されている方が他のどの施設を利用しているか併用者を探る



## ＜和田観光いちご園と併用分析＞

- ・期間中来訪者数は和田観光いちご園5191人
- ・浜の駅来訪者（120,942人）の内、3%（3,710人）が和田観光いちご園に来訪
- ・浜の駅との同日併用者が451人



＜和田観光いちご園＞



＜浜の駅＞

# 浜の駅（復興市民市場）と相馬松川浦温泉 飛天併用者分析

【来訪者分析】 期間： 2020年10月～12月（3か月）

浜の駅施設に範囲を設定、3地点来訪者居住地分析を用いて来訪されている方が他のどの施設を利用しているか併用者を探る



■ 単点のみ ■ 併用者  
相馬市 復興市民市場浜の駅



## ＜相馬松川浦温泉飛天と併用分析＞

- ・期間中来訪者数は相馬松川浦温泉飛天6,005人
- ・浜の駅来訪者（120,942人）の内、3%（3,655人）が相馬松川浦温泉飛天に来訪
- ・浜の駅との同日併用者が439人



＜相馬松川浦温泉 飛天＞

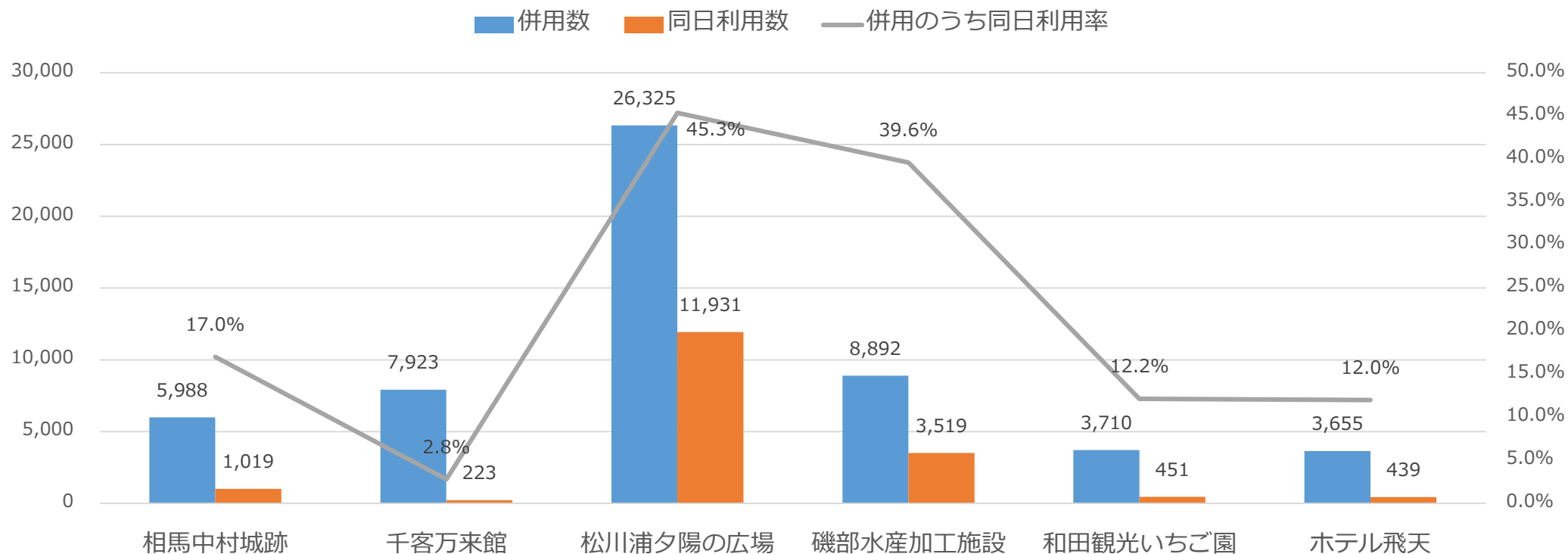


＜浜の駅＞

# 浜の駅前後に訪れている施設

浜の駅とそれぞれの施設について、施設利用推計数と浜の駅との併用率をグラフ化した

- ・近隣である松川浦夕陽の広場の併用数が多い。また、磯部水産加工施設の同日利用率が高い（39.6%）。
- 浜の駅利用者は海産物の購入を目的として訪問していると推察される。



グラフの見方について（例：相馬中村城）

①浜の駅来訪者120,942人のうち相馬中村城を訪れた人は5988人

②上記5988人のうち同じ日に両施設を訪れた（併用した）人は1019人（17%）

## 【分析結果まとめ】

- ・開所により最大一日で3,000人超の来客数が生まれた。また、年代別に見ると50代以降の来訪者が多い。
- ・来訪者の県内外比は2 : 1で、県外からは宮城県がほとんどを占めた（31.4%）。市外利用者が82.8%と市外からの流入を生む施設として、高い誘客効果を発揮している。
- ・浜の駅を核として、その他の市内施設との併用には偏りが見られ、特に、磯部水産加工施設の同日併用率が高く（39.6%）、浜の駅利用者は海産物の買い物をする人が多いことが推察される。

## 【政策検討】

- ・課題として平日の利用者拡大がある。このため、平日利用しやすい市民をターゲットに据えて、市民が本施設を利用したくなる商品開発や品揃えに加えるなど、市民が再訪したくなる施策を展開することが有効である。
- ・本施設の開所によって、近隣施設との新たな周遊を生み出しており、買い物目的だけでなく市内観光施設利用への誘導を広げることで、市内経済の活性化につながる可能性がある。このため、本施設から他施設へ周遊させるルート商品の開発や周遊の有用性の提案が必要である。

## ●須賀川市の中心市街地

flattoの誘客増には、利用者関連の高いtette利用者をターゲットとしたflattoの新たな利用価値の創出として、弁当やテイクアウトの提供など、恒常的に訪問する市民向けの商品展開が必要。同時に、flattoを目的地とする市外からの誘客強化も必要。

同エリア内の7月以降に女性70歳以上の方が増加傾向が今回の調査で明らかになった。しかし、KLAでは増加要因が確認できず、システムによる分析の課題が明らかとなった。

## ●喜多方市の中心市街地

GW期に顕著に減少した訪問客が、2020年秋期に回復が見られた。2021年GW期の客数回復を図るため、2020年秋期で前年より減少している20代女性と50代男性をターゲットとした旅行商品開発や周遊ルート提案などの誘客施策を実施することで、2020年秋期を上回る集客が得られる可能性がある。

## ●相馬市の松川浦周辺

本施設の開所によって、近隣施設との新たな周遊を生み出しており、買い物目的だけでなく市内観光施設利用への誘導を広げることで、市内経済の活性化につながる可能性がある。このため、本施設から他施設へ周遊させるルート商品の開発や周遊の有用性の提案が必要である。

以上、3市の中心施設などにおける人出の状況とその属性をKLAによって定量化した。これらはKLAの使い方の一例として、コロナ感染拡大により新たな生活様式の下で変化した人口動態や新施設による人出の変化をタイムリーに見える化（定量化）したものである。各々の自治体が抱える課題は地域事情によって様々に異なることから、それぞれの課題認識にあてはめてKLAをツールとしてデータを根拠とした政策立案に活用することで、地域独自の地方創生の推進に寄与できると考える。

*Tomorrow, Together*  
**KDDI**